

総務省平成25年度補正予算 ICT街づくり推進事業

なんぶスマートライフ・プロジェクト推進事業 成果報告

平成27年4月21日(火)

南部町長 坂本昭文

事業概要

- 平成27年2月12日放送のニュース映像でご紹介します



- **県内外の企業を集め、官民連携により事業を実施**

代表提案団体

- 南部町
- 米子市

共同提案団体

- 南部町健康管理センター
- 鳥取県
- 株式会社中海テレビ放送(プロジェクトマネジメント)
- 富士通株式会社
- KDDI株式会社

本事業は、本町が取組む「健康づくり」に対する町民の意識醸成及び健康づくりへの参加促進等を図ることを目的として、平成25年度に米子市で実施した「ICT街づくり推進事業」における成果を活用しつつ、下記3つの「健康づくり」の新たな仕組みを構築するとともに、災害等の非常時における見守り等(防災・減災)への活用の可能性も検証する

1

マイナンバー制度導入を見据えた行政住連携

2

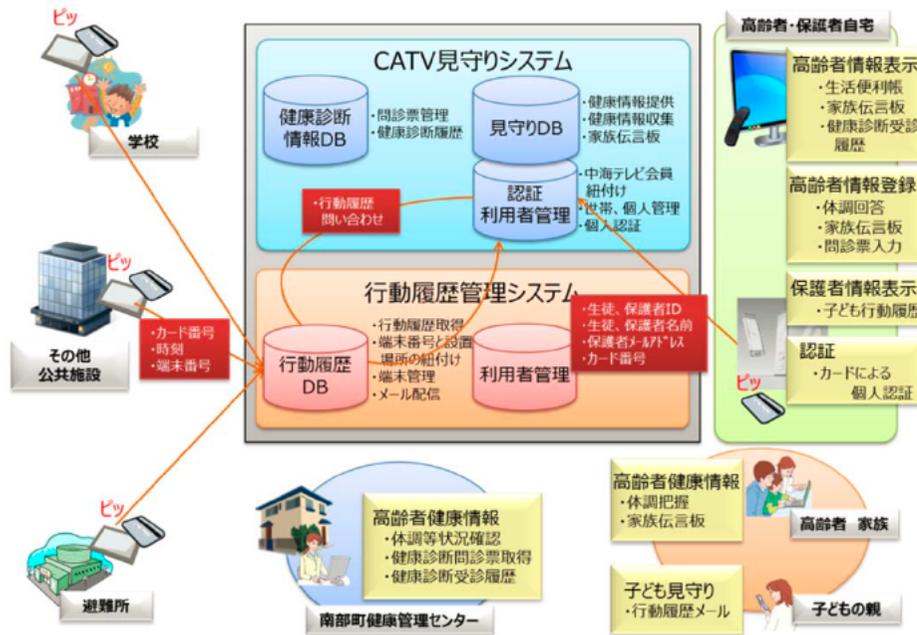
マイナンバーカードによる高齢者の見守り

3

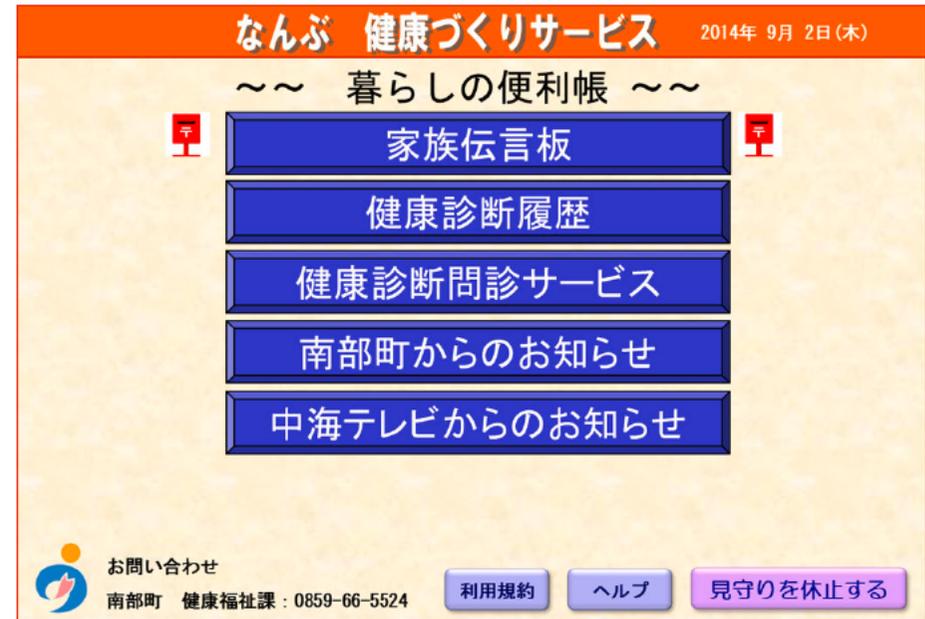
マイナンバーカードによる子どもの行動履歴管理

実施プロジェクトの内容と成果・課題

- プロジェクトで構築するシステム概念図は下図表の通り
- マイナンバーカードとケーブルテレビ網を通じて、行政と住民を結ぶサービスを提供



図表 システム概念図



見守り・健康づくりサービスストップページ

- **マイナンバーカードによる個人認証で、行政の保有する健康診断受診履歴データを閲覧する仕組みを構築**



ケーブルテレビ(次世代STB)による
模擬マイナンバーカード読み取り

なんぶ 健康づくりサービス 2014年 9月 2日(木)

～～ これまでの健康診断受診履歴です ～～

2014年 8月30日	定期検診	南部町国民健康保険 西伯病院
<u>2014年 6月 1日～2014年 7月31日 健康診断問診票</u>		
2013年 7月28日	がん検診	南部町国民健康保険 西伯病院
2012年 9月10日	定期検診	ひろかね内科・循環器内科クリニック
2011年 7月 9日	定期検診	潮医院
2010年 8月 3日	定期検診	潮医院
2009年 7月18日	定期検診	潮医院
2008年 7月29日	定期検診	潮医院

お問い合わせ
南部町 健康福祉課 : 0859-66-5524

戻る

健康診断受診履歴画面

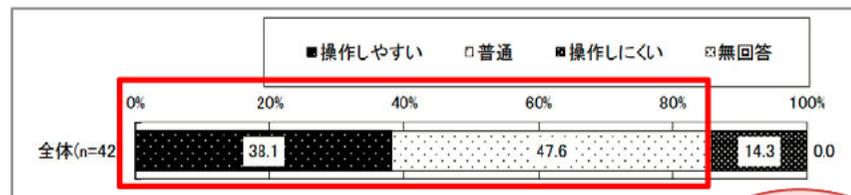
- 8割以上の利用者が、今回の仕組みを受容
- テレビをインターフェースとした行政情報の閲覧は有効と確認

問. 機器の起動のしやすさはどうか



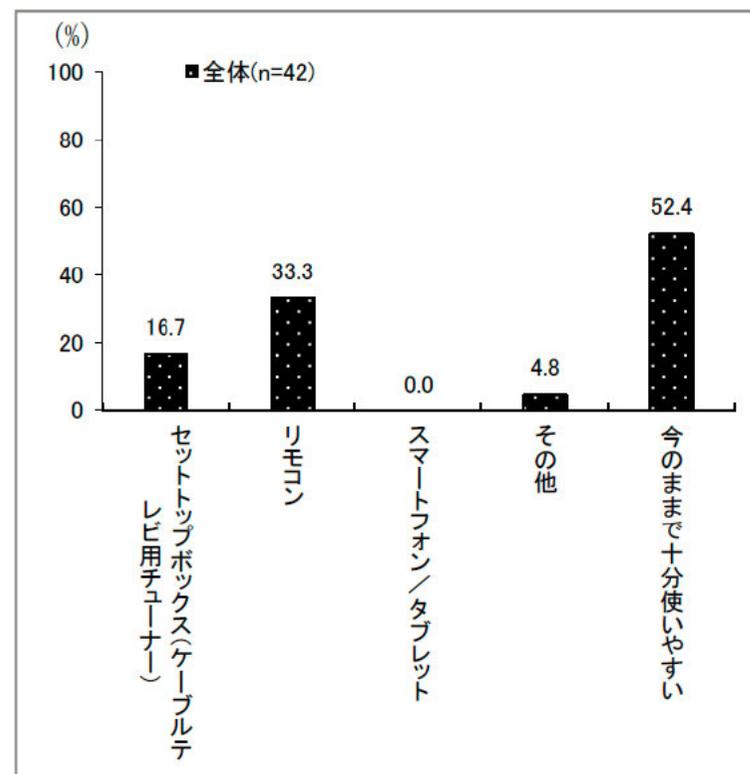
83.3%

問. 機器の操作のしやすさはどうか



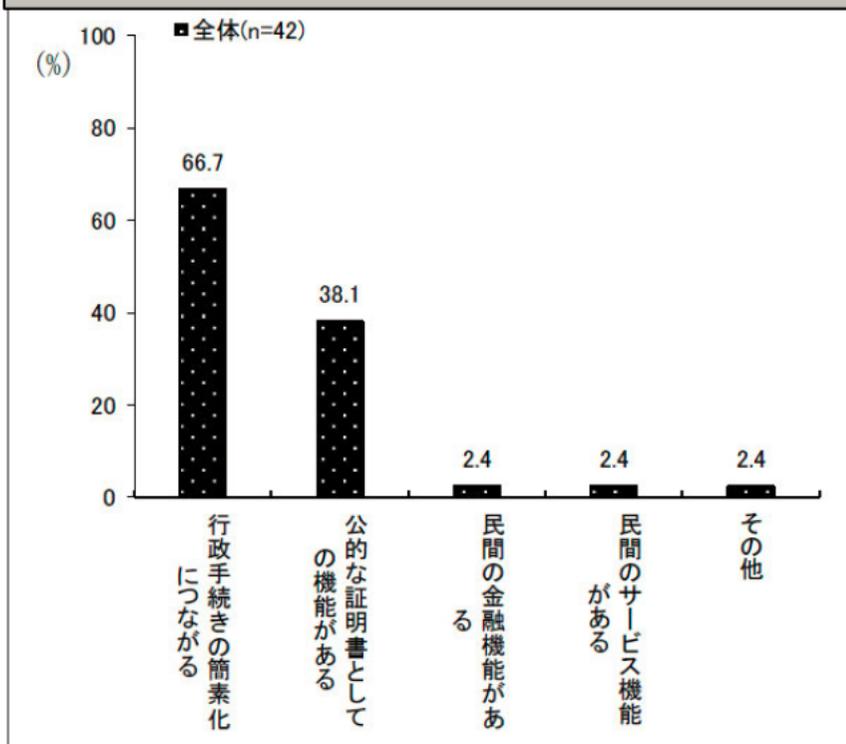
85.7%

問. カードリーダーと一体化していれば起動しやすい機器は

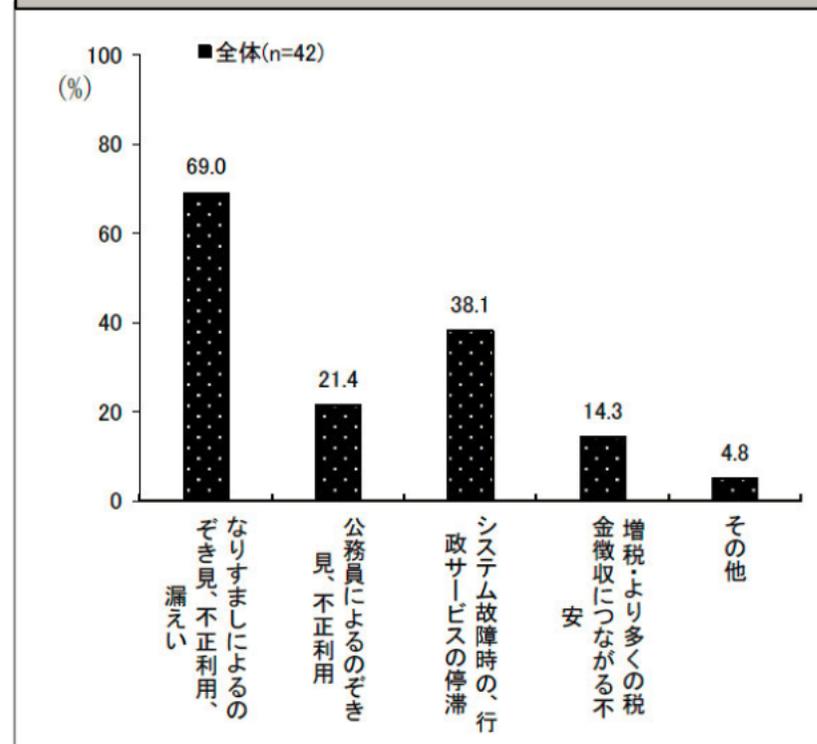


- 個人番号制度の概要を「理解している」と回答したのは約20%
- 行政手続きの簡素化に期待がある一方、情報漏えい等懸念事項もあり、まずは住民への適切な周知が必要

問.「個人番号カード」に対して期待すること



問.「個人番号カード」に対して懸念すること



- アンケート調査の結果、約6割のユーザが利用、支払意志あり
- サービス、システムに対する一定の受容性と事業性を確認

サービス利用率は59.8%

- 総アクセス可能数1,388に対するアクセス数830回

支払意志を示したユーザーの割合は62.0%

- 一定割合サービスは受容されたものとする

支払可能性額は488円/月

- 利用者負担による継続可能性あり

- データを活用した個人向けサービスに一定の需要あり
- ユーザ層を意識した操作性やセキュリティには万全を期す必要あり

利用者の声

- 日々のデータを蓄積することで、個人に適切なアドバイスを行ったり、有効な健康診断を提案したりしてほしい。
- 高齢者が気軽に参加できる行事や健康講座の案内の他、役場からのお知らせなど、社会とつながっていることを実感できるシステムがあれば良いと思う。
- 利用金額が高いと課題になる。
- 個人の健康診査の情報が決して漏洩しないようにセキュリティには注意してほしい。
- 高齢者の場合には操作マニュアルがわかりづらい。色々な機能がある複雑なものは高齢者に使えないと思う。

- タブレットタッチでの保護者へのメール通知機能を実現
- テレビをインターフェースとした行動履歴の管理機能を実現



行動履歴登録用タブレット



システムを活用した避難訓練実証

見守りシステム 2月5日(金)

南部 華子 さん こんにちは

一郎くんの行動履歴

2014年10月28日 17:00	南部町立会見小学校
2014年10月28日 16:00	南部町立図書館
2014年10月28日 8:30	南部町立会見小学校
2014年10月27日 16:00	南部町立図書館
2014年10月27日 8:30	南部町立会見小学校
2014年10月26日 16:30	東西町地域振興協議会
2014年10月26日 8:30	南部町立会見小学校

次郎くんの行動履歴

2014年10月28日 17:00	南部町立西伯小学校
2014年10月28日 16:00	南部町立図書館
2014年10月28日 8:30	南部町立西伯小学校
2014年10月27日 16:30	南部町ふるさと交流センター
2014年10月27日 8:30	南部町立西伯小学校
2014年10月26日 16:30	南部町総合福祉センター
2014年10月26日 8:30	南部町立西伯小学校

前 ^

次 ^

戻る

行動履歴管理画面

- サービスによる安心感の向上を評価する声は多い
- 無料サービスを望む声は多いが、一定の支払意志もあり

「安心感が向上する」回答は75.0%

- 特に避難訓練実証に児童が参加した保護者は100%

支払意志を示したユーザーの割合は30.5%

- 無料サービスを望む声は多いが、一定の支払意志もあり

支払可能性額は313円／月

- 利用者負担による事業継続の可能性あり

- **保護者の子どもを見守りたいニーズは高い**
- **園児や低学年児童の利用も視野に入れた、居場所情報を自動で取得する仕組みの構築を求める声が多い**

利用者の声

(小学校教諭)

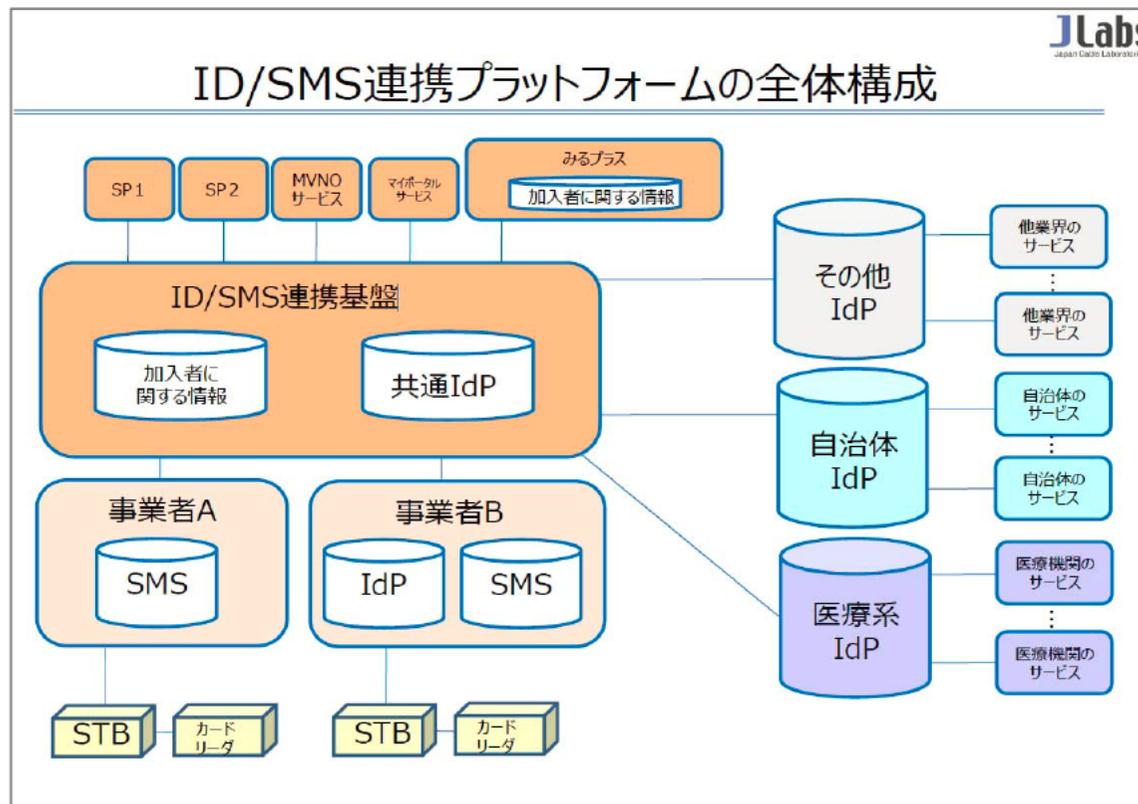
- 自分の子供がどこにいるのか分かるというのは保護者にとって良いことだと思われる。また、このような取組みを、指導も含めて家庭で会話してもらえると良い。その際、家庭でルールを決めて使用するなどすると良いと思われる。

(保護者)

- カードリーダーにかざさなくても、カードを持っているだけで読み取るシステムになると良い
- カードを読み取った際に家族からの伝言が表示されるとより良い。
- 子供がカードリーダーにカードをかざさなければ、メールは通知されない。そのため、子供が忘れていた場合は、メールが届かず、かえって不安になる。
- 親が子供の居場所を知りたいときにわかるシステムの方が良い。
- ICカードが悪用される可能性も視野にいれて、壊れにくく、無くしにくい園児、低学年にも使いやすい仕組みにしてほしい。

事業継続とさらなる普及展開に向けて

- 官民連携を前提に、民主導のサービスモデル構築へ
- 中海テレビ放送による日本CATV連盟の共通プラットフォームを通じた横展開に期待



(出典): (一社)日本ケーブルラボ「ID/SMS連携基盤プラットフォームの基本方針について」